

経営体の概要

- ・所在地：福岡県八女地域
- ・組織名：JAふくおか八女電照菊部会
- ・栽培作物・作付面積：輪ギク・73ha
- ・部会員数：92名（うち青年部27名）  
（令和5年12月現在）

導入技術

- ・環境測定機器（SERAKU、(株)farmo、(株)誠和、(株)IT工房Z）
- ・炭酸ガス施用機（(株)林°）、(株)タガリ、タニチ工業(株)

導入経緯

- 施設の高度化が進み固定費が増大、経営安定のためには生育期間の短縮や品質向上のための環境制御技術の確立が必要であった。
- H28年度に県単事業でICT機器を活用した匠の技の見える化を目的にキク等園芸6品目で環境測定機器を導入。更に、H30年度には炭酸ガス施用機を導入し、生産性や品質向上効果を検討した。

取組の特徴・効果

- 電照菊部会員5経営体の環境データと生育との関係性を明らかにし、低温期を経過する作型において、生育・収穫期間が短縮できる温度管理技術を確立。
- 炭酸ガス施用により、切り花重の増加による品質向上効果が認められ、栽植本数を増加させても一定の品質を保てることから、収量増加効果も確認。
- 3か年の事業実施により、電照菊部会青年部活動としてICT勉強会を立ち上げ、自ら環境測定と生育、収量調査を実施し、普及が分析等支援。また、八女地域以外のキクにも環境データに基づく栽培管理が波及。
- 平成31年3月に県単事業の成果として「匠の技実践マニュアル」を作成。
- その後、八女地域では、炭酸ガスの局所施用についても検討。密植栽培（慣行の1.1倍）において局所施用に加えて栽植方法を工夫することで、慣行と同等以上の切り花形質を確保。収益性も向上。

